

# G

# GOVERNOR's

## Monthly Letter



Rotary  
International  
District 2800  
2013-2014

ガバナー月信



「秋彩の道」



District Governor

2800  
2013-2014

国際ロータリー第2800地区【2013-2014年度】

ガバナー 新関 彌一郎 RI会長 ロン D. バートン  
RI理事 松宮 剛 RI理事 北 清治





# 「クラブ会長 R財団補助金

公式訪問の前に、クラブ会長・幹事懇談会を開いていることは先月お話をしました。一方的にクラブを指導するというよりは、会長エレクト・次年度幹事を含めて、それぞれのクラブの課題や問題点、今後のことを話し合うといった内容の会となっていると言ったほうが良いかもしれません。

その中で、今年は、ロータリー財団の地区補助金・グローバル補助金の話が多く出ました。2800地区では地区補助金は35件の申請があったわけですから、その関心の高さも例年をはるかに超えたものであったわけです。

今月11月は「ロータリー財団月間」で、詳しくは、私の次のページで、パストガバナー佐藤豊彦財団委員長が詳しくお話されることでしょうか、ロータリー財団の詳細についてはそちらに譲りますが、会長さん方は様々ご苦勞をされて申請したということは、お話の中でよくわかりました。

締め切りが3月31日であったということで、十分にクラブ内での話が煮詰まらず、今回は申請を断念されたクラブもあったようです。会長・幹事会には前述したように、会長エレクト・次年度幹事も同席される場面が多くありましたので、この点、次年度（2014年3月31日締め切り）の申請に向けて準備するようお話が出来たことは良かったと思っています。

申請をオンラインで行ったガバナー事務所の菅野事務員や志田地区幹事の話を経れば、申請書を受け付けて、補助金委員会を開催するまでの期間は、事務所側にとっても時間的余裕がなかったように思うとのこと。確かに、申請書をもとに、聞き取りをして申請書の点検、確認などが出来れば、もっと多くの申請を受けられたのかもしれませんが、これは、事務局側の反省点として次年度に生かしていただければと思います。

グローバル補助金は、現在、3クラブが申請進行中で、あと2クラブが申請を検討している状況です。ハードルは確かに高く、相手国にしっかりとした受け手、ロータリアンがいるところは順調に行きそうですが、そうでない相手国を対象としている事案は、申請手続きで、クラブ担当者やガバナー事務局員は、かなり手こずっているというのが正直なところです。一步一步、根気よく前進していくしかないのでしょうか。

私は、公式訪問の中で、ロータリアンの三大義務についてお話をさせてもらっています。皆さんご存知のように、三大義務とは「会費を払うこと」「例会に出席すること」「ロータリーの友を購読す

# ・「幹事会」から について思うこと

2013-2014年度 ガバナー 新関彌一郎

ること」ですが、「最近はまだ0.5、ロータリー財団への寄付がこの3つにプラスされるように感じる」と話しています。もちろん、ロータリー財団への寄付は、それぞれの善意で行うもので、義務の話と一緒にしてお叱りを受けるとは思いますが、「未来の夢計画」初年度の今年の補助金の使われ方、その裁量を地区に任されたことを考えれば、私たちは財団へ対して寄付行為をもう少し考えてもよいのではないかと思います。DDFとWFとの配分、その他の用途は実に目に見えるもので、これほど透明感のある寄付制度はそう多くはないかもしれません。

実は、偶然にも、毎月送られてくる「財団NEWS10月号」に、『ロータリー財団は、格付け機関・チャリティーナビゲーターから最高評価の四つ星を得た。これによりロータリー財団は、財務管理能力と説明責任、および透明性が高く評価された。これで6年連続の最高評価を受けた。』という記事が掲載されているのを発見しました。

今月は「ロータリー月間」です。皆さんにご理解を深めて頂き、より多くの寄付が行われることを強く望みます。

## 「ファーストクラス」へのお誘い

ロン・D バートンRI会長の昨年からの提案で、世界の2013-2014年度ガバナー、2013-2014年度地区財団委員長、地区内の2013-2014年度クラブ会長は、個人名でロータリー財団へ寄付をしてほしいとのお願いがあります。

寄付を達成すると「ファーストクラス」と呼ぶことにしているようで、世界で、ガバナーは100%寄付で「ファーストクラス」を達成。財団委員長は73.8%達成、クラブ会長は35.10%達成となっているようです。（財団NEWS8月号現在）

今は、クラブ会長へ私からのお願いです。どうか今年度のR財団への普通寄付金、もしくは特別寄付金を会長名で実行して頂きたいと思っております。もうすでに実行されているクラブ会長もいるようですが、「ロータリー財団月間」として寄付をお考えであれば、何卒、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 未来の夢計画 (Future Vision Plan) スタートの年度に当たり。

ロータリー財団

委員長 佐藤 豊彦

11月はロータリー財団月間になっています。ロータリアンの浄財（寄付）を頂き、「世のため人のために何か良いことをしよう」と始まったのが、ロータリー財団のスタートであります。財団の歴史について少しお話を致します。

◎1917年 第6代R I会長 アーチ・C・克蘭クがアトランタの国際大会で「ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で、慈善、教育、その他の社会奉仕のなかで何か良いことをしよう」と提案をしてスタートしたのがロータリー財団の始まりであります。R財団も、間もなく100周年を迎えます。

◎1918年 国際大会でも、26ドル50セントが最初の寄付であります。その後基金に寄付が集まったのかというと、そうではありませんでした。

◎1928年 ミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」の正式名称が決まります。10年間で200万ドルを集めようと計画を致します。しかし、世界恐慌が起き、第二次世界大戦へと発展して、200万ドル計画が頓挫致します。

◎1947年 世界大戦も終わり、これからという時に、ロータリーにとって、大変悲しいことが起きます。ポール・ハリスのご逝去であります。

ロータリアンは彼の死を悼むとともに彼の功績を称え、続々と寄付が寄せられます。「ポール・ハリス記念基金」が設立され、国際奉仕の実践につながって、これが、ロータリー財団への基金につながってまいります。

このようにして、皆様方の善意の寄付により奉

仕のプログラムが実践されてまいりました。間もなく100周年を迎えます。ロータリーも108年の歴史を刻み、ロータリー財団は、R I理事会の下部機関として、世界の地区122万人の巨大な組織からの、プロジェクトへの参加や多くの提出書類で、パンク寸前でありました。

そこで、今年からスタートする、「未来の夢計画」であります。

◎未来の夢計画 (Future Vision Plan)

この計画の特徴は「簡素化」と「地区への裁量権の拡大」です。

私たちが寄付をした金額が、3年後に地区に戻されます。DDF（地区財団活動資金）を地区で地区補助金とグローバル補助金として、奉仕活動を行っていかねばなりません。今年がスタートの年度でありますので地区としても勉強してまいります。

地区の皆さんもこのプロジェクトに参加して、実り多い奉仕活動を、クラブとしても検討して活性化に繋げてほしいものです。

◎2013～14年度の第2800地区の目標

- (1) 地区のロータリー財団への目標額 20万ドル  
1人当たり 150ドル
- (2) 地区51クラブ 寄付を 0クラブ0とする。
- (3) ロータリーカードの会員拡大を図る  
当地区は、会員1620名中158名がカード会員です。

11月はロータリー財団月間であります。地区内ロータリアンの絶大なご支援とご協力をお願い致します。





## 第3ブロックガバナー補佐 本間 義和

9月29日（日）に第3ブロックのインターシティミーティングが、さくらんぼ東根温泉の花の湯にて東根中央RCをホストクラブとして開催されました。新関彌一郎ガバナーを始めとしたご来賓の方々や、第3ブロック内12クラブの総勢170名の参加を得まして極めて賑々しく開催することが出来ました。

講演会は、石巻市で歯科医を開業されている三宅宏之先生に、大変お忙しい中お出で戴きました。

「大震災、その時わたしは～被災地にて歯科医として生きる」

という演題で、東日本大震災の際大津波の直撃を受けすべてを失ってしまった実体験を、報道では見られない映像を交えて講演して戴きました。参加戴きました皆さんからは、とても感銘を受けましたという感想を沢山戴き、好評を頂けましたことに我々一同満足感を覚えております。

講演後、新関ガバナーより講評を戴き、尾花沢ロータリークラブの笹原正一郎会長より次期開催地としての挨拶を戴きました。

懇親会にも大勢の皆さんに参加して頂き、楽しくご歓談頂き親交を深めて頂きました。また、会場で皆さんより頂きました復興支援への寄付金は、講師の三宅先生により石巻市に届けて頂きました。後日、石巻市長より感謝状が届いております。

最後は全員で「手に手つないで」の大合唱で閉会となりました。

尚、参加頂きました皆様には心より御礼申し上げます。

## 寄稿



## 再度レイテ島へ水牛を贈る

鶴岡東ロータリークラブ 佐藤 祐三

今年もレイテ島へ水牛1頭分を贈るため渡航した。レイテのオルモックベイロータリークラブと友好協定を結ぶ目的もあった。昨年私たちは国際奉仕の何たるかを学ぶために、レイテ島の農村に入った。そこは、ロータリー財団の使命として掲げている「奉仕の6つの重点分野」に全てが当てはまる現場だった。私たちはこの現状に驚くと同時に行動しなければと考えた。

そこで、このカナガ地区に「未来の夢計画」のグローバル補助金を出すことは出来ないかと考え始めた。ここは 1. 平和と紛争予防 2. 疾病予防と治療 3. 水と衛生 4. 母子と健康 5. 基本的教育と識字率向上 6. 経済と地域社会の発展の重点分野すべてに当てはまる地域である。

大多数の農民は小作農であり、日雇いだけが収入源の人も多い。この地区に今年も水牛1頭を贈呈してきたが、彼らが水牛を持つことの意味は大きい。

今年も東京江戸川中央ロータリーの池田正孝氏も忙しい中、このツアーに参加され、新しく水牛2頭を寄贈してくれました。我々の奉仕活動が認められたようで、本当にうれしいことでした。今回は阿部興二財団委員長と2人で、ベイロータリーの例会にメイクアップすることが出来ました。私が下手な英語でスピーチし、バナー交換の後、この例会場でプレゼンテーションをやりましたが、カナガ町タクロバンにあるNGO法人、「カラバオファミリー農園」の取り組みにグローバル補助金を申請していくことで合意できました。両クラブで協定書を取り交わすことにし、1週間後にドンフェリペホテルで調印することを約束しました。

ベイロータリーのエスカロン会長と鶴岡東RCの直前会長佐藤祐三のサインで、鶴岡東の直前幹事の高橋直幹君、ベイロータリーのベルセラー氏、ステファニー氏の立ち会いで調印、合意を取り交わすことが出来ました。この様な難しい話がスムーズに進んだのは、行く前にメールで内容について了解を得ていたこと、弁護士で裁判官のマラーテさんの適切な指導、日本側カラバオファミリーの竹見智恵子さんのご理解、ご協力に負うところが大きい。これから「未来の夢計画」について取り組んでいくつもりですが、継続性が保たれるか、受け皿がしっかりしているか、改善が数値で明示されるか、このプログラムをどう周囲に知らしめるか、総事業の30%を自己資金で出せるか、などの難しい課題が多くあります。これらを解決し財団から補助金を引き出していくことは奉仕の理想であり、超我の奉仕にもつながるものと確信しております。

### 「新世代奉仕グループセミナー報告」



新世代奉仕委員会  
ライラ小委員会  
委員長 池田郁太郎

RIが提唱するRYLA（ライラ・青少年指導者養成プログラム）とは「将来の指導者になりうる若者に対して、その能力をよりいっそう高めるための効果的な研修機会を与える」ことを目的に実施されます。それにより、参加者が社会の中で同世代の若者に対して指導的な役割を果たすことや、ひいては将来、地域や社会においても指導的な能力を発揮して貰うことを期待しています。これらを具現化するためには、青少年が担うことになる来たるべき社会に対して我々ロータリアンが大いなる関心を抱いているということを知ってもらうことが重要であり、RYLAはその目的を実現するための大いなる好機であるといえます。

今年度は第4ブロックの協力を得て2014年6月7日（土）～8日（日）の一泊2日で西川町弓張平地内での実施を予定しております。詳しい要項が決まり次第、速やかに各クラブへご連絡を申しあげますので、参加者の推薦のほどよろしくお願い致します。

### 「新世代奉仕グループセミナー」



新世代奉仕委員会  
インターアクト小委員会  
委員長 高橋 章

インターアクトは素晴らしい活動を行っておりますことを、皆様にお伝えさせて頂きました。

トルコ共和国表敬訪問では、次世代の山形とトルコ共和国の友好の架け橋という大役を見事に果たしてくれました。また、JICA訪問では、JICAのHPに掲載されております通り、「開発途上国の子供たちの衛生面の現状を知り、何かしたいと思った。」「エイズ問題や教育問題を解決するために、一人ひとりが関心を持ち、目を向けていかなければならないと思った。」など、素晴らしい感想を述べております。

地区の活動以外でも、地元の清掃活動や、震災ボランティア活動など、素晴らしい活躍を見せてくれていることもご報告申しあげました。

ご存じの方も多いと思いますが、トルコ共和国大使館表敬訪問と、九里学園のIAの震災ボランティアは山形新聞に取り上げて頂いております。

生徒会長に決まった生徒もおおり、リーダーシッププログラムの成果と嬉しく思っています。

### 「ローターアクト小委員会報告」



新世代奉仕委員会  
ローターアクト小委員会  
委員長 橋本 重幸

1. RA地区年次大会について
  - 来年4月12～13日、鶴岡で開催されます。
2. RAC会長・幹事会への出席について
  - 7/28に天童で行われ、前年度決算報告と今年度の活動計画・予算を審議。
3. RACとRCの相互交流推進について
  - 各ブロックのIM、各RC懇親会や例会などへ呼んで戴ければと思います。
4. RACを新設可能なクラブへの支援について
  - 第3ブロックの天童・東根地区への新設のご協力をお願いしております。
5. 山形RACへの支援について
  - 少なくとも前年度に解散（終結）致しました。
6. ライラ研修会への参加について
  - 同研修会はRAの活動計画に入っております。
7. ローターアクトクラブについて
  - ①会員数について（2013.7.1）
 

米沢	RAC	6名
東北文教大	RAC	5名
鶴岡	RAC	18名
南陽東	RAC	17名
酒田	RAC	6名
計		52名
  - ②RA地区役員について
    - 地区RA代表・・・丸山純（鶴岡RAC）、幹事・・・中村明博、会計・・・阿部新吾
  - ③RA地区ターゲット
    - 「朋友」・（for you）仲間・友達、あなたの為
  - ④その他
    - アジア第1ゾーン代表者会議・・・今年度9/15・新潟で開催、次年度9月頃に「山形」で開催、義務出席者・オブザーバー・スタッフ計75名位

RACは「未来への投資」と考えてください。



演題「地球市民を育てる」 講師：ジャンチブ・ガルバドラッハさん(新モンゴル高等学校 理事長)

現在、世界人口は70億人を超え、ヒト・モノ・カネの流れが異常に増えた。そしてIT革命の時代となっている。例えば、モンゴルの草原で生まれ、日本で学習し、アメリカに就職することもある。

また温暖化している地球で、宇宙船地球号はキャパシティ・オーバーになり、環境破壊、生物多様性の劣化が急速に増え、気候変動・砂漠化、災害などの環境破壊が起こっている。

また国際社会の安全さが崩れている、地域によって戦闘が起きているところが多く、テロの脅威は増している。そして多くの命が失われている。これからは、世界平和維持活動が必要である。

20世紀は教育の世紀だった。学校現場における課題として大学進学目的になり、入試対策中心の場となり、個性のある人間が育たない。生きる力や自立精神が弱い。学校は他力本願で自分の考えを持たない、夢も情熱もない。

そこで、何をやるべきか？

私たち、新モンゴル校は何。学校の最大の成果は卒業生で、10期生1,200名の卒業生、390名が海外留学している。

自己紹介をすると、渡日して留學生活。1年間国費奨学金の後、山形大学では新聞配達、西濃運輸、居酒屋で1年間働き学習した。そして米山奨学生となり、その上で学校を創る夢が生まれた。奨学金月15万円はとても大切なお金だった。

1998年モンゴルを担っていく人材育成をするという卓話を行い、東北大学で高校のカリキュラム開発の研究をし、2000年10月5日に「柱一本の会」の協力により新モンゴル高校が誕生。そのモデルは山形西高。

新モンゴル高等学校の教育理念は将来モンゴル国を背負っていく人材の育成、学校は夢を見つけ、夢を語り、夢を追いかける実践の場。そのために多くの先輩たちの話を聞くこと、彼らから勇気と生き方、夢を追う意義を学ぶ。学校は情熱を燃やすところ、仲間に刺激され、仲間に刺激を与える環境を整える。大自然の中で人格を磨く、電気、電話、水道がない林間学校で伝統生活を学び、乳しぼり、農作業などの遊牧民の作業により生きる力を育む。

先輩や後輩、卒業生たちの生きた絆、卒業生は母校を誇りに思い、母校は卒業生によって名をはせる。

地球市民育成のための提言として、国民国家のあり方ほもう一度見つめなおす必要があるのではないか。それぞれの違いを認める寛容で開かれた心を育てること。異文化コミュニケーションの力を育むこと。一つの国家、コミュニティにとらわれることなく、一つの地球の仲間に直面する共通な課題に取り組む精神をもつ地球市民を育てる。

地球は一つの国になる時代はそう遠くない。

能に溺れるエリートではなく、情があふれるリーダーを目指し、青少年に「愛する心」を育てる。

最後に、このようにモンゴル初の高校が誕生し、地球市民を育成する取り組みにチャレンジできているのは皆さんのお陰です。

ガバナー月信 副編集長 須藤 智



## ガバナー公式訪問



### 上山ロータリークラブ

会長 山川 庸久

8月21日(水)に新関ガバナー、千歳ガバナー補佐、志田地区幹事にお越し頂き公式訪問が開催されました。例会に先立ち木村上山副市長に表敬訪問、震災の避難民への取り組みや、先日の豪雨による断水等の危機管理の話題を始め親しく懇談を頂きました。

会長・幹事会では、会員増強の話、4日後に迫った、会員一丸となり取り組んできた社会奉仕プロジェクト(福祉施設利用者の皆様とボランティアによる恒例のかかし祭り会場の清掃・いも煮昼食・一般市民を招いてのわらび座による「セロ弾きのゴーシュ」の公演、当日は満員の大盛況)の話を見せて頂き、その中で新関ガバナーからロータリークラブは「人生におけるクラブ活動」とのお言葉に大変深く感銘致しました。上山クラブ11名の侍は、今後とも「やれば出来る」をモットーに会員増強を中心とし、明るく、活力あるロータリーを目指します。



### 立川ロータリークラブ

会長 瀧 静壽

8月22日(木)に新関ガバナー・恩田ガバナー補佐・志田地区幹事をお迎えし、アドバイスやご指導を頂きました。

1. 東日本大震災の被災者が町内にも避難しているのでその人たちの支援が出来ないか、
2. クラブ25の実践を目指そう、
3. 地区内の交流をもっと深めていこう、
4. 職業分類について再度検討。主婦業というのも一つの職業として有りだ、
5. 「ロータリーの友」の熟読。

ガバナーの卓話も理解しやすく、ガバナーの言う、20万年前からの「ロータリー」を楽しみたいと思ったところです。小規模クラブではありますが、じっくり腰を据えて一層頑張りたいという気持ちでいっぱいになりました。

例会後に余目クラブと共に原田庄内町長を表敬訪問しました。

ご指導、誠にありがとうございました。

### 東根中央ロータリークラブ

会長 加藤 徹

8月26日(月)新関ガバナー、本間ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えしての公式訪問が行われました。会長幹事会においては、会員増強に関する手続き確認や、新地区補助金を利用した奉仕プロジェクトに関する事、クラブ年次計画書の作成に関する事、等の細部に渡ってアドバイスを頂きました。

当クラブにおいては、会員数や会員増強目標がほぼ満たされていることから、クラブに活力があるうちにクラブ内の規律や細則などを改めて整備するようご指導頂きました。

終止和やかな雰囲気の中、例会でもスピーチを頂きました。例会終了後は、東根RCの会長・幹事と合流し、ガバナーの同級生でもある、東根市長への表敬訪問に伺いました。



### 山形中央ロータリークラブ

会長 板垣喜代志

8月27日(火)に新関ガバナー、千歳ガバナー補佐、志田地区幹事にお越しいただき、ガバナー公式訪問例会が行われました。例会に先立ち会長幹事会で、我がクラブの現状および今年度の活動計画について説明させていただき、ガバナーからは大変適切なお指導をいただきました。特に会員増強や出席率、メークのあり方などについてガバナーのお考えをお聞きすることが出来ました。

会長幹事会が終了後例会場に移動し、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会では全員での記念撮影後、新関ガバナーからセミナーの改革のお話、ロータリークラブの歴史や現在の2800地区の実情と3つの義務等々について幅広くお話をいただきました。今後のクラブ運営について、大変参考になりました。今後のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。



## ガバナー公式訪問



### 天童ロータリークラブ

幹事 佐藤 友紀

8月30日新関ガバナー、本間ガバナー補佐、志田地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問が行われました。例会に先立ち開催された会長幹事会では、当クラブの年次計画についてガバナーからのアドバイスを頂きながら、地区方針の説明、東日本大震災復興支援についての考え方や、会員増強についてのお話を頂きました。中でも「会員増強はもちろん大切だが、それと合わせて退会者

を出さない為にも新入会員を皆んなでしっかりと育てなければならない」という事の重要性を強くご指導頂きました。その後の例会においても新関ガバナー持ち前のユーモアを交えながらのスピーチに、会員一同真剣な中にも楽しく聞き入り、大変有意義な公式訪問例会となりました。



### 米沢おしょうしなロータリークラブ

会長 山村 明

9月2日（月）新関彌一郎ガバナー・秋葉隆子ガバナー補佐・志田泰久地区幹事をお迎えして公式訪問例会が行なわれました。

例会に先立って、10時30分より、会長・幹事・エレクトとの7名で会長幹事会が行なわれ、クラブの運営状況などについて報告を申し上げ、それに対して的確な御指導をいただきました。

行事などは社会奉仕・社会貢献で前向きにやるのであればバックアップするとの力強いおことばを賜りました。

新入会員のレクチャー教育をしっかりやっていたら、クラブ会員の定着率は高くなるなどのアドバイスをいただきました。

例会での新関ガバナーのご挨拶では、公式訪問も2800地区51クラブ訪問も後半に入った、サンディエゴでのガバナー研修会に行ってみっちり勉強をしてこられたとのお話、そして今年度の地区テーマ「奉仕を実践し夢を未来に届けよう」の主旨に沿って「夢・未来計画」を進め、例会の充実・各委員会の活性化・会員の増強に尽力して欲しい。我々が支えるからとのありがたいおことばでした。

会員の務めは、

①会費を払うこと、②ロータリーの友を読むこと、③例会に出席すること

大変おしょうしな!!



### 酒田ロータリークラブ

会長 丸藤 只孝

去る9月4日（水）に新関ガバナー、志田地区幹事、浅井ガバナー補佐をお迎えし公式訪問が行われました。例会に先立ち、10時より会長、幹事、エレクト、副幹事の7名で当クラブの活動計画等について話し合いがありました。

最初に会長がクラブ方針「縁」「絆」「交流」について説明し、当クラブの問題点等について意見交換が行われ、新関ガバナーより大震災の被災者支援、グローバル補助金等の具体的なアドバイスをいただきました。

特に会員増強については、会員職業分類充填一覧表から当クラブで欠けている職業を補填するような会員勧誘をしてみようというアドバイスをいただきました。

その後例会ではユーモア溢れるスピーチをいただき、終始なごやかで有意義な時間となりました。新関ガバナー誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



### 山形イブニングロータリークラブ

会長 池野 広

2020年東京五輪決定の興奮冷めやらない9月9日、新関ガバナー・志田地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会が行われました。ガバナーの飾らない温和なお人柄が出席全会員にも伝わり、終始和やかな雰囲気の中で進められました。ガバナー講話で述べられたロータリーの3つの義務「会費の納入」「例会等への出席」「ロータリーの友を読むと財団への寄付」をすることが活動の

基本であり、改めてその意義を認識いたしました。ガバナーには2800地区として珍しい夜の例会の雰囲気を感じていただいたと思います。お忙しいところお越しいただき感謝申し上げますと同時に、今後も健康に留意され益々ご活躍されることをお祈りし、報告とさせていただきます。

## クラブ会員数 / 出席率

ブロック	No	クラブ名	2013.7.1		2013.9.30		年初からの増減数		9月出席率	累計出席率
			会員数	女性会員数	会員数	女性会員数	増	減		
第1ブロック	1	酒田	38	(3)	38	(3)	0	0	67.76	66.97
	2	酒田東	33	(3)	33	(3)	0	0	83.90	91.97
	3	遊佐	12	(0)	12	(0)	0	0	89.58	93.98
	4	酒田中央	38	(0)	38	(0)	0	0	80.70	84.27
	5	酒田スワン	16	(6)	16	(6)	0	0	87.30	91.18
	6	酒田湊	15	(3)	15	(3)	0	0	85.00	89.81
第2ブロック	7	鶴岡	40	(5)	40	(5)	0	0	85.59	80.11
	8	鶴岡西	33	(4)	33	(4)	0	0	84.38	85.05
	9	余目	27	(0)	27	(0)	1	1	70.09	78.98
	10	立川	16	(0)	16	(0)	0	0	87.50	85.94
	11	鶴岡東	33	(1)	33	(1)	0	0	90.64	87.06
	12	鶴岡南	23	(4)	24	(4)	1	0	79.17	78.75
第3ブロック	13	天童	41	(3)	42	(3)	1	0	92.41	90.60
	14	東根	29	(0)	29	(0)	0	0	91.00	88.00
	15	天童東	49	(0)	50	(0)	1	0	73.44	82.70
	16	天童西	19	(0)	21	(1)	2	0	85.71	90.87
	17	東根中央	37	(1)	40	(1)	3	0	88.33	85.39
	18	村山	13	(0)	13	(0)	0	0	100.00	97.56
	19	新庄	17	(2)	18	(2)	1	0	84.72	83.33
	20	尾花沢	18	(0)	18	(0)	0	0	84.71	79.55
	21	最上	21	(1)	22	(1)	1	0	47.62	52.01
	22	尾花沢中央	15	(0)	14	(0)	0	1	94.65	94.22
	23	村山ローズ	22	(5)	21	(5)	0	1	65.45	71.68
	24	新庄あじさい	17	(0)	17	(0)	0	0	72.06	76.96
第4ブロック	25	寒河江	50	(0)	49	(0)	0	1	92.37	91.19
	26	大江	21	(2)	21	(2)	0	0	90.47	92.99
	27	河北	30	(0)	30	(0)	0	0	90.00	92.67
	28	寒河江さくらんぼ	38	(3)	38	(3)	0	0	67.57	82.33
	29	西川月山	17	(1)	19	(1)	2	0	73.61	76.49
第5ブロック	30	山形	90	(0)	94	(0)	4	0	100.00	99.15
	31	山形北	67	(0)	66	(0)	0	1	97.30	97.55
	32	山辺	21	(0)	22	(0)	1	0	96.43	97.12
	33	山形南	51	(2)	53	(2)	2	0	100.00	100.00
	34	中山	16	(0)	16	(0)	0	0	79.17	79.00
	35	山形西	93	(0)	96	(0)	3	0	92.34	91.81
	36	上山	11	(0)	11	(0)	1	1	81.81	88.12
	37	山形東	35	(0)	36	(0)	2	1	84.31	90.22
	38	山形中央	39	(3)	40	(3)	1	0	84.38	84.03
	39	山形イブニング	30	(1)	31	(1)	1	0	90.80	90.28
第6ブロック	40	米沢	53	(7)	56	(7)	3	0	90.18	88.89
	41	米沢上杉	50	(2)	51	(2)	1	0	95.59	96.39
	42	高畠	50	(3)	50	(3)	0	0	63.00	71.00
	43	米沢中央	33	(4)	35	(4)	2	0	97.86	97.86
	44	米沢おしょうしな	27	(1)	27	(1)	0	0	93.83	86.83
	45	長井	30	(1)	32	(1)	2	0	62.50	67.55
	46	南陽	18	(4)	18	(4)	0	0	100.00	98.60
	47	白鷹	17	(0)	17	(0)	0	0	75.29	87.84
	48	小国	17	(0)	17	(0)	0	0	100.00	100.00
	49	南陽東	38	(1)	38	(1)	0	0	78.94	77.24
	50	長井中央	21	(1)	21	(1)	0	0	95.20	91.53
	51	南陽臨雲	27	(1)	27	(1)	0	0	62.04	65.12
合計			1612	78	1641	79	36	7	84.45	86.05



## 新入会員の紹介



**那須 修**

所属クラブ：長井RC  
職業分類：司法書士  
入会月：H25年7月



**堀米 淑子**

所属クラブ：酒田スワンRC  
職業分類：割烹料理  
入会月：H25年10月

## 文庫通信 (314号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会講演より

- ◎「ロータリーにおける不易流行とは（パネルディスカッション）」  
沢島武徳(コーディネーター) 2013 10p (D.2630地区大会記録誌)
- ◎「それこそロータリー」 関場慶博 [2013] 14p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「新世代に伝えるべきこと(トークセッション)」 新浪剛史 他 2013 5p (D.2720地区大会記録)
- ◎「新世代の育成に情熱を!!」 岡村泰岳 2013 4p (D.2740地区大会記録)
- ◎「善き仲間と共に」 中村靖治 2013 6p (D.2720地区大会記録)
- ◎「これからのロータリー～新世代育成の現状と展望(シンポジウム)」  
茂木正光(コーディネーター) 2013 5p (D.2580地区大会の記録)
- ◎「職業奉仕の理念と実践」 黒田正宏 [2013] 3p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎「職業奉仕の基本理念」 深川純一 [2013] 4p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎「シェルドンから学ぶ」 田中毅 [2013] 3p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎「時代を先駆けたシェルドン職業奉仕の実践」 小船井修一 [2013] 4p (D.2730地区大会記録誌)

[上記申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

# 11月の地区スケジュール ROTARY CALENDAR

日曜日	主要行事
11/1 金	
2 土	
3 日 (文化の日)	
4 月 (振替休日)	
5 火	
6 水	
7 木	
8 金	
9 土	地区大会
10 日	地区大会
11 月	
12 火	
13 水	
14 木	
15 金	
16 土	
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	
21 木	

日曜日	主要行事
22 金	
23 土 (勤労感謝の日)	
24 日	
25 月	
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	
12/1 日	
2 月	ガバナー会・GETS
3 火	ロータリー研究会
4 水	
5 木	
6 金	
7 土	第1回地区チーム研修セミナー(※) ガバナーエレクト国際協議会出発歓送会(※)
8 日	
9 月	
10 火	

(※)…池田年度事業



縁結び祈願祭

鈴立山若松寺では、4月～12月まで毎月第1日曜日に縁結び祈願祭を行っています。6月2日には全国から男女244名の参加がありました。芸能人の山田花子さんも鈴立山若松寺を訪れてからまもなく結婚されたと聞いています。



国際ロータリー第2800地区

2013 - 2014年度

ガバナー 新関 彌一郎

ガバナー事務所

〒994-0026 山形県天童市東本町一丁目9-20

TEL.023-687-0208 FAX.023-687-0209

E-mail ri2800@muse.ocn.ne.jp

## 【今月の表紙】 秋彩の道

山の紅葉が里に下りた11月上旬の早朝、総合運動公園に足を運んでみた。秋光が降り注ぎ、逆光に照らし出された銀杏落葉の絨毯道を、過ぎ行く秋を惜しむように若い二人が歩いていた。

[写真撮影] 天童西ロータリークラブ 西尾 秀男  
天童市総合運動公園にて撮影 時間/6:25 ニコンD-300